

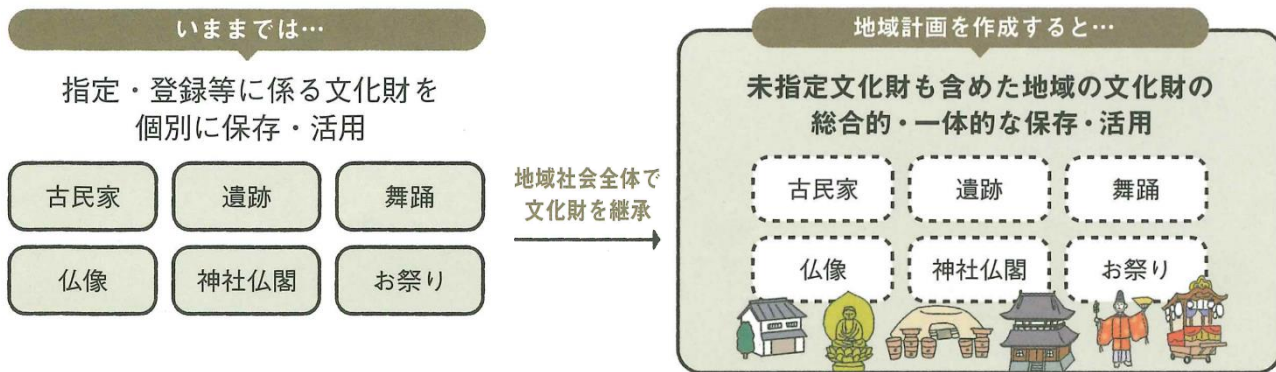
文化財保存活用地域計画とは？

過疎化・少子高齢化等の社会状況の変化を背景に各地域の貴重な文化財の滅失・散逸等の防止が緊急の課題となる中、従来価値付けが明確でなかった未指定を含めた有形・無形の文化財をまちづくりに生かすつ、文化財継承の担い手を確保し、地域社会総がかりで取り組んでいくことのできる体制づくりを整備することが必要となっている。 ※1

文化財保存活用地域計画は、文化財保護法に位置付けられた市町村における文化財の保存と活用に関する総合的な法定計画であり、市町村の総合計画の下に体系づけられるものです。地域の歴史や文化にまつわるコンテクストに沿って多様な文化財を俯瞰し、総合的・一体的に保存・活用することにより、地域の特徴をいかした地域振興に資するとともに、確実な文化財の継承につなげるものです。文化財保護行政の中・長期的な基本方針を定めるマスタープランと、短期的に実施する具体的な事業を記載するアクションプランとしての両方の役割を担います。

この計画を作成・実施することにより、住民・民間団体・文化財部局・庁内関係部局などが地域総がかりで文化財を守り、いかし、伝える体制の構築を図り、文化財の存続につなげていくことが期待されています。 ※2

※ 文化財保護法改正は、平成31（令和元）年4月1日施行



※2

認定市町村が感じた地域計画作成のメリット

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 文化財保護におけるビジョンの共有 ② 中・長期的な方針や具体的な事業の可視化による計画的な行政運営 ③ 文化財保護行政への他部局・上層部の理解促進 ④ 地域計画作成時の連携体制が事業計画の推進に寄与 ⑤ 住民、関係団体、庁内各課、他地域などとの連携強化 | <ul style="list-style-type: none"> ⑥ 作成に伴う調査での文化財及び類型を超えた文化的所産の把握 ⑦ 関連文化財群の設定による地域住民の文化財への興味喚起と交流活性化 ⑧ 補助率加算などの国庫補助事業における優遇 |
|--|--|
- 地域計画認定市町村へのアンケート（2020年10月）より

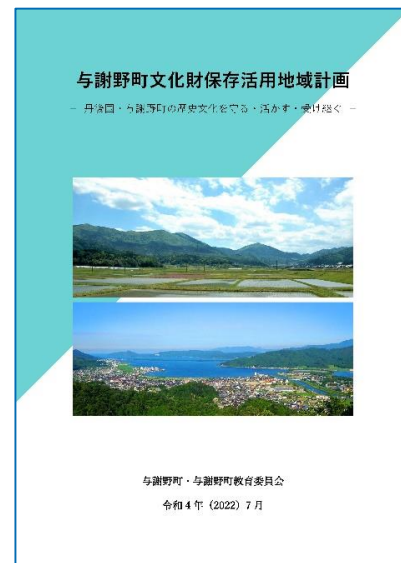
※2

関連文化財群とは

指定・未指定に関わらず多種多様な有形・無形の文化財を、歴史文化に基づく関連性、テーマ、ストーリーによって一定のまとまりとして捉えたもの。群を構成する複数の文化財を総合的・一体的に保存・活用するための枠組。まとまりを持って扱うことで、未指定文化財についても構成要素としての価値付けが可能となり、また、相互に結びついた文化財の多面的な価値・魅力を明らかにすることが出来る。 ※2

文化財保存活用区域とは

文化財が特定の範囲に集積している場合に、当該文化財（群）をその周辺環境も含めて面的に保存・活用するために設定するもの。域内の地区特性や歴史文化に応じて市町村が独自に設定する戦略的な計画区域。多様な文化財が集中する区域を設定して保存・活用を図ることで、魅力的な空間の創出につながる事が期待される。 ※2



令和4年7月22日、文化庁認定

※1 『文化財保護法に基づく文化財保存活用大綱・文化財保存活用地域計画・保存活用計画の策定等に関する指針』（文化庁、令和3年6月）より転載

※2 『地域総がかりでつくる 文化財保存活用地域計画—歴史文化で魅力ある地域へ—』（文化庁地域文化創生本部、2021年1月）より転載

目次

序

例言

第1章 計画の作成にあたって

- 1 計画作成の背景と目的 1
 - 1-1 計画作成の背景 1
 - 1-2 文化財・歴史文化を守り伝える意義 2
 - 1-3 計画作成の目的 2
 - 1-4 本地域計画が対象とする範囲「丹後国域」 3
- 2 与謝野町の行政計画と文化財保存活用地域計画の位置付け 4
- 3 計画の期間 9
- 4 計画の進捗管理と見直しと変更 9
- 5 本地域計画における文化財の定義 9

第2章 与謝野町の概要

- 1 自然的・地理的環境 11
 - 1-1 位置・面積 11
 - 1-2 地名と行政組織の変遷 11
 - 1-3 地形・地質 14
 - 1-4 気候 15
 - 1-5 植物相・動物相 15
- 2 社会的状況 17
 - 2-1 人口動態 17
 - 2-2 財政状況 18
 - 2-3 産業 20
 - 2-4 土地利用 23
 - 2-5 交通体系 24
- 3 歴史的背景 25
 - 3-1 はじめに 25
 - 3-2 原始・古代（縄文時代～平安時代） 25
 - 3-3 中世（鎌倉時代・室町時代） 29
 - 3-4 近世（安土桃山時代・江戸時代） 31
 - 3-5 近代（明治時代～昭和20年） 33
- 4 歴史文化・文芸に関する公開施設 34

第3章 与謝野町の文化財の概要と特徴

- 1 指定等文化財の概要と特徴 37
 - 1 指定等文化財 37
 - 2 日本遺産 43
 - ・300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊 43
 - 3 未指定文化財の概要と特徴 45
 - 1 未指定文化財 45

第4章 丹後国・与謝野町の歴史文化の特徴

- 1 歴史文化の特徴の概要 51
 - 1-1 政治・経済の視点から 51
 - 1-2 文学・芸術の視点から 52
- 2 歴史文化の特徴の分類 52
- 3 丹後国域と与謝野町域の歴史文化の特徴 55

第5章 文化財の把握調査

- 1 既存の文化財の把握調査の概要 59
- 2 文化財の把握調査の現状と課題 61
- 3 文化財の把握調査の方針 67
- 4 文化財の把握調査実施の体制 67

第6章 文化財の保存・活用に関する方針

- 1 現状 69
 - 1-1 文化財の調査（調査・研究） 69
 - 1-2 文化財の保存（保存・修理） 69
 - 1-3 文化財の活用（公開・整備） 70
- 2 文化財の保存・活用の理念 71
- 3 課題 72
- 4 文化財の保存・活用の基本方針 75

第7章 文化財の保存・活用に関する措置

- 1 文化財の保存・活用に関する措置 77
 - 1-1 保存・活用に関する措置の方向性 77
 - 1-2 措置 77

目次

第8章 文化財の一体的・総合的な保存と活用

- 1 関連文化財群について 103
 - 1-1 関連文化財群の目的 103
 - 1-2 関連文化財群の設定 103
 - 1-3 関連文化財群の概要と保存・活用に関する方針・措置 104
 - ・丹後国関連文化財群1 いにしへの王「原丹後王統譜」 105
 - ・丹後国関連文化財群2 丹後の鉄道と舞鶴軍港 111
 - ・丹後国関連文化財群3 丹後ちりめん300年、絹が織りなす機屋文化 115
 - ・与謝野町関連文化財群1 丹後与謝野の氏神祭、神輿渡御と屋台巡行 121
 - ・丹後国関連文化財群4 丹後の鬼の伝承と異界の扉 126
 - ・丹後国関連文化財群5 名勝「天橋立」の美、心が語る文学・芸術 130
 - ・与謝野町関連文化財群2 名峰「大江山」の裾野、蕪村が観た与謝の景観 136
- 2 文化財保存活用区域について 140
 - 2-1 文化財保存活用区域の目的 140
 - 2-2 文化財保存活用区域の設定 140
 - 2-3 文化財保存活用区域の概要と保存・活用に関する方針・措置 140
 - ・与謝野町文化財保存活用区域1 丹後ちりめん、与謝野道エリア 141
 - ・与謝野町文化財保存活用区域2 与謝野大江、山の辺の古道エリア 147

第9章 文化財の防災・防犯

- 1 文化財の防災・防犯に関する現状と課題 152
- 2 文化財の防災・防犯に関する方針 152
- 3 文化財の防災・防犯に関する措置 153
- 4 文化財の防災・防犯の推進体制と体制整備の方針 157

第10章 文化財の保存・活用の推進体制

- 1 文化財の保存・活用の推進体制 158
- 2 体制整備の方針 161

資料

- 資料1 指定等文化財一覧表 165
- 資料2 計画の骨子「課題—方針—措置」対応表 182

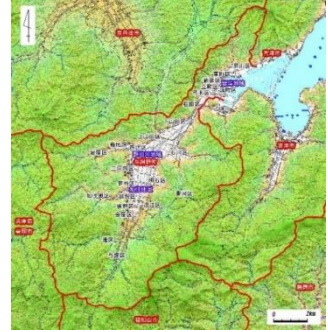
【計画期間】 令和4～8年度（5年間）

【面積】 約108km²

【人口】 約2万人

【関連計画等】

日本遺産「300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊」
(H29年度)



指定等文化財数一覧

未指定文化財 9,752件
指定等文化財 114件

	国								合計		
	指定文化財	選定文化財	登録文化財	指定文化財	登録文化財	暫定登録文化財	決定文化財	指定文化財			
有形文化財	建造物										
	美術工芸品	0	-	0	3	2	8	-	8	0	21
	絵画	0	-	0	2	0	0	-	4	0	6
	彫刻	1	-	0	0	0	0	-	18	0	19
	工芸品	1	-	0	1	0	0	-	10	0	12
	書跡・典籍	0	-	0	0	0	1	-	3	0	4
	古文書	0	-	0	0	0	1	-	1	0	2
歴史資料	1	-	0	0	0	3	-	1	0	5	
考古資料	2	-	0	2	0	6	-	3	0	13	
無形文化財											
民俗文化財	0	-	0	0	0	0	-	0	0	0	
有形民俗文化財	0	-	0	0	0	1	-	0	0	1	
無形民俗文化財	0	-	0	0	3	-	-	4	0	7	
記念物	4	-	-	4	0	0	-	5	-	13	
遺跡	0	-	-	2	0	0	-	0	-	2	
名勝地	0	-	-	2	0	0	-	3	-	5	
動物・植物・地質鉱物	0	-	-	0	-	-	-	0	-	0	
文化的景観	0	1	-	-	-	-	-	0	-	1	
伝統的建造物群	0	-	-	-	-	-	-	0	-	0	
文化財環境保全地区	-	-	-	-	-	-	3	0	-	3	
合計	9	1	0	16	5	20	3	60	0	114	

丹後国の歴史文化の特徴

地域に固有の風土の下、先人によって生み育まれ、時には変容しながら現代まで伝えられてきた知恵・経験・活動等の成果及びそれが存在する環境を総体的に把握した概念。地域の歴史や文化にまつわるコンテキスト。歴史文化の特徴は、地域らしさ、地域の特徴をあらわす。

特徴A 海路と交易港が生み出す政治・経済 ～丹後国交易海都～

原丹後期の丹後半島は潟港を拠点として朝鮮半島とも交流した国内屈指の交易都だった。丹後における海路港の重視は奈良・平安時代の丹後国府や鎌倉・室町時代の丹後守護所、江戸時代の宮津城、明治～昭和時代の舞鶴軍港にも継承されており、現代行政では「海の京都」事業ともされている。

特徴B 鉄道がつなぎ・運ぶ、人・モノ・情報

近代の丹後にとって鉄道は最優先インフラだった。軍港舞鶴に向かって京阪神地区から鉄道がのびてきた。丹後の各地域は近代の拠点「舞鶴」や福知山の鉄道との接続を目指して、官営鉄道誘致合戦が展開した。官営鉄道線から外れた地域は、自前で鉄道を作り出した。その代表が加悦鉄道である。

特徴C 町並みに息づく暮らしと産業

丹後ちりめん織物産業の富は、街道に連なる町並みを作り出し、在郷町の加悦では銀行・通信情報や発電所・鉄道などの近代産業インフラが整備された。また、その富は氏神祭りの神輿渡御や屋台巡行としても昇華した。町並み・祭り・ばらすしなど丹後の機屋文化は今も受け継がれている。

特徴D 海原と湧き水と山並みが創造した伝説文学 -丹後と異界-

異国・異界との境界にはさまざまなモノが息づき、物語の源泉となる。丹後半島の異界性とその風土は浦島伝説・天羽衣伝説・天橋立伝説を生み出した。これら日本最古級の文学作品は丹後を舞台に創造された。都人は大江山に鬼の棲まう土地をイメージし、鬼退治物語を定着させた。

特徴E 丹後の自然景観が創造した文学・芸術

日本三景の一つ特別名勝「天橋立」は多くの俳句短歌や絵画を生み出した。与謝野鉄幹・晶子らが短歌を詠み、複数ある天橋立のビュースポットは、感動を生み出す文学創作のアトリエでもある。また、鬼の棲む山「大江山」の景観も天橋立と同じ俳句短歌を生み出す源泉となった。

丹後国域の歴史文化のイメージ 異界への扉、丹後国「港(みなと)」

丹後は各時代において良好な港を有する土地が政治・経済の中心地となり、これらの港が丹後国域の富の源泉の拠点だった。また、浦島伝説に象徴されるように、丹後は海の彼方にある異界の蓬莱につながるイメージは、古代の天羽衣伝説・天橋立伝説、中世の大江山の鬼伝説を生み出す基盤となった。

与謝野町域の歴史文化のイメージ 阿蘇海と大江山とに囲まれて -海陸クロスロード-

丹後半島の付け根に位置する与謝野町域の歴史は、港と内陸部をつなぐ「道」が重要な視点である。与謝野町は地形的に阿蘇海と大江山連峰に挟まれる特徴を持ち、丹後国外と接続する港と近畿中央部など日本列島内陸部とを往来する人・モノ・情報が行き交う陸路の拠点「丹後国の南の玄関口」である。

推進体制

行政

- 与謝野町 社会教育課・学校教育課・観光交流課・企画財政課・商工振興課・防災安全課ほか
- 国 文化庁・観光庁ほか
- 京都府 文化財保護課・文化政策室・丹後広域振興局ほか
- 丹後国域自治体 京丹後市・宮津市・伊根町・福知山市・舞鶴市
- 関係機関 与謝野町文化財保護委員会・与謝野町伝統的建造物群保存地区保存審議会・海の京都 DMO ほか

一般

- 与謝野町内団体 ちりめん街道を守り育てる会・古代から未来へつなぐ会合同会社ほか
- 与謝野町民等 有志・所有者・元町民ほか

専門機関等

- 研究機関等 福知山公立大学・兵庫県立大学・立命館大学ほか
- 博物館等 京都府立丹後郷土資料館ほか
- 民間団体 与謝野町観光協会・与謝野町商工会ほか
- 専門家等 古材文化の会ほか

文化財の保存・活用

与謝野町文化財保存活用地域計画推進協議会

与謝野町文化財保存活用地域計画

※課題・基本方針・措置は末尾の一覧表を参照

調べる

課題 文化財の価値を判断するための調査の不足
基本方針 文化財を調査・研究
 …文化財の把握調査を継続実施／文化財の詳細調査・研究を実施
措置の例 **神社建築・寺院建築・狛犬・道標等・自治区文書などの把握調査事業／食文化などの詳細調査・研究事業**
 ■取組主体：与謝野町・専門家・町民 ■計画期間：令和5～7年度



受け継ぐ

課題 文化財の保存・継承の危機
基本方針 文化財を保存し、次世代へ継承
 …文化財の適切な保存・修理や維持管理の体制・制度の整備／文化財の新規指定等を推進／防災・防犯対策に取り組む
措置の例 **国重伝建加悦保存地区修理修景事業／国重伝建加悦保存地区空き家対策推進事業**
 ■取組主体：与謝野町・専門家・町民・民間業者 ■計画期間：令和4～8年度



知る

課題 文化財の価値を共有するための情報発信と学ぶ場の不足
基本方針 文化財の情報発信と学ぶ場の提供を推進
 …展示施設・情報発信施設・説明設備の充実を図る／学校教育を通じて、児童生徒たちの関心を高める／住民の関心を高め、文化財の価値を共有
措置の例 **説明板設置事業／小学校・中学校・高等学校歴史文化授業支援事業**
 ■取組主体：与謝野町・町民 ■計画期間：令和4～8年度

活かす

課題 文化財の活用の不足
基本方針 文化財を活かして輝かす
 …利用・見学しやすい環境を整備／見学コースやツアーを企画・提供／民間組織による活用事業への支援
措置の例 **与謝野町立古墳公園開園方法検討事業／現地周遊事業<丹後国の中世・戦国「地蔵山遺跡の時代」**
 ■取組主体：与謝野町・団体・町民 ■計画期間：令和6～8年度



支える

課題 歴史文化を担う人材・組織の不足
基本方針 文化財で人材・組織をつなげ、「文化財思いびと」を育成
 …情報共有・連携のための場を整備・自立的に学び・伝える人材「文化財思いびと」の育成
措置の例 **歴史文化情報意見共有「有志の会」与謝野町歴史文化まちづくり懇談事業／文化財保存活用人材「文化財思いびと」育成事業**
 ■取組主体：与謝野町・専門家・町民 ■計画期間：令和6～8年度

創る

課題 丹後国・与謝野町の歴史文化の特徴を体感したいと思わせるストーリーの創出と発信の不足
基本方針 丹後国・与謝野町の歴史文化の特徴を表現するストーリーを創り・広め・定着させる
 …丹後国・与謝野町という言葉から当地域の歴史文化のイメージ像を湧かせる
措置の例 **講座・シンポジウム事業／現地周遊事業**
 ■取組主体：与謝野町・専門家 ■計画期間：令和7・8年度



丹後国関連文化財群・与謝野町関連文化財群

指定・未指定に関わらず複数の文化財を歴史文化の関連性・テーマ・ストーリーによって一定のまとまり・群として捉え、ストーリー仕立てにすることで、専門家ではない一般の人たちが「イメージ像」を描き易くなり、文化財の保存・活用への理解が深まる効果を想定。

◆丹後国関連文化財群

旧国「丹後国」の範囲を歴史文化圏のまとまりとして捉え、丹後国域に所在する関連した文化財群。

◆与謝野町関連文化財群

与謝野町内に所在する関連した文化財群。

丹後国関連文化財群 1 いにしえの王「原丹後王統譜」

■原丹後の王墓の系譜は、弥生中期の日吉ヶ丘1号墓から弥生時代後期の三坂神社10号墓・ガラス釧の大風呂南1号墓・赤坂今井墳丘墓に至り、古墳時代前期には湧田山1号墳、「日本海地域三大古墳」の蛭子山1号墳・網野銚子山古墳・神明山古墳の大型前方後円墳の造墓としてみる事ができる。



丹後国関連文化財群 2 丹後の鉄道と舞鶴軍港

■明治22年（1889）に第4海軍区鎮守府を舞鶴に置くと定められたこと及び京都市への丹後ちりめんの運搬手段対策から、丹後における鉄道建設の機運が高まり、大正から昭和には、地元住民の出資による小規模な鉄道「加悦鉄道」「北丹鉄道」が敷設された。



丹後国関連文化財群 3 丹後ちりめん300年、絹が織りなす機屋文化

■丹後機屋の衣食住の空間は機を中心に営まれ、住宅と機場が一体の一般機屋、大きな資本の織物工場、業界を取り仕切る商家建築、これらが相まって加悦伝統的建造物群保存地区（通称、ちりめん街道）など丹後の町並みをなしている。



与謝野町関連文化財群 1 丹後与謝野の氏神祭、神輿渡御と屋台巡行

■与謝野町内の氏神祭は、三河内祭の山屋台、加悦谷祭の後野と加悦・算所の芸屋台、これら以外の地域でも多くの太鼓屋台があります。岩滝祭は神輿の渡御があり、神輿祭の風体が特徴となっている。毎年春、与謝野町は「祭りの町」となる。



丹後国関連文化財群 4 丹後の鬼の伝承と異界の扉

■丹後の大江山には、源頼光の酒呑童子退治や麻呂子皇子の鬼退治の伝承がある。京の都からみた鬼の棲む辺境の地・丹後、という視点でみると単なるおとぎ話になるが、丹後への風土観念「異界に近い境界性」が鬼退治伝承の物語を育てたのだろう。



丹後国関連文化財群 5 名勝「天橋立」の美、心が語る文学・芸術

■摩訶不思議な天橋立の景観は、江戸時代には日本三景の一つとされ、様々な眺望地が整えられている。そして、数多くの絵画・短詩を創り出し、文学・芸術の創作意欲を刺激されずにはいられない心の景観として人々を創造の世界へといざなっている。



与謝野町関連文化財群 2 名峰「大江山」の裾野、蕪村が観た与謝の景観

■なだらかな稜線の連なりが単独峰にはない美しさをもつ大江山連峰。大江山の山容や自然、そして裾野に広がる景観は、この地を訪れた文人たちが抱かずにはいられなかった創作意欲の源を今日に至るまで保っており、現代の歌枕として生き続けている。



関連文化財群の取り組み例

丹後国関連文化財群 1 いにしえの王「原丹後王統譜」

■ **ストーリー** 日本国の誕生以前、有力な地域国家の一つ「タニハ」、その中核が丹後半島の「原丹後」地域。原丹後の王墓の系譜は弥生中期の紀元前2世紀の日吉ヶ丘1号墓から弥生時代後期の1世紀の三坂神社10号墓・ガラス釧の大風呂南1号墓・赤坂今井壇丘墓に至り、古墳時代前期の4世紀には「日本海地域三大古墳」の蛭子山1号墳・網野銚子山古墳・神明山古墳の大型前方後円墳の造墓としてみることができる。富の源泉は朝鮮半島からの「鉄」輸入交易で、交易拠点の外航港「潟湖」の存在。原丹後は約500年間にわたり地域国家群の雄として日本国誕生の骨格を築いた地域。

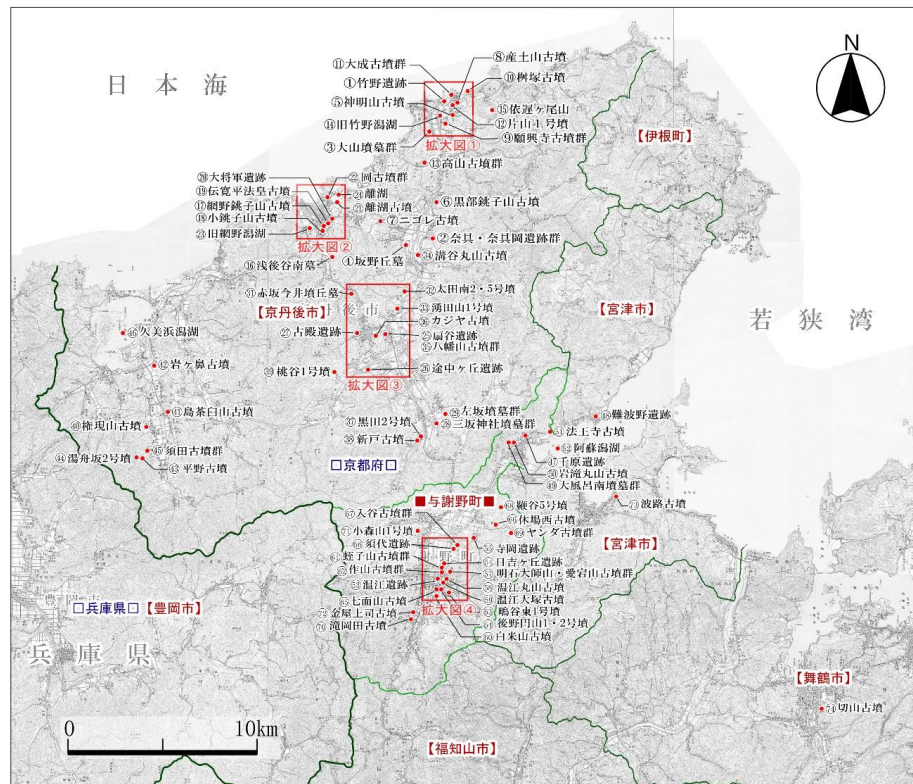
■ **課題** 構成文化財の国史跡蛭子山古墳群・京都府史跡滝岡田古墳など丹後国前史の古代遺跡を中心とした文化財の価値を共有するための情報発信と学ぶ場と活用が不足。これらを支える人材・組織も不足。

■ **方針** 丹後国以前の古代史の魅力を伝える情報発信と学ぶ場など「知る機会」の提供を推進し、保存・活用を支える人材・組織を作り出す。

■ 措置の一例 ※措置は末尾の一覧表を参照

- ・ **事業名** **現地周遊事業**
- ・ **事業内容** 現地周遊事業を実施し、保存への理解を促します。原丹後王国物語の創出に努める。
- ・ **実施体制** 行政（庁内連携：観光行政部署）
広域連携：京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署、京都府、海の京都DMO
- ・ **計画期間** R7～8

- ・ **事業名** **案内板設置事業**
- ・ **事業内容** 来訪者の便宜を図るために、国史跡蛭子山古墳群・国史跡白米山古墳など遺跡・古墳近くの要所にルート案内板を設置し、周遊性を高める。
- ・ **実施体制** 行政（庁内連携：観光行政部署）
広域連携：京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署、京都府、海の京都DMO
- ・ **計画期間** R6～8



構成文化財一覧

- **京丹後市域（竹野郡（竹野川中下流域））** 1竹野遺跡、2奈良・奈良岡遺跡群、3大山墳墓群、4枳塚古墳、5神明山古墳、6黒部銚子山古墳、7二ゴレ古墳、8産土山古墳、9願興寺古墳群、10枳塚古墳、11大成古墳群、12片山1号墳、13高山古墳群、14旧竹野潟湖、15依遅ヶ尾山古墳、16浅後谷南墓、17網野銚子山古墳、18小銚子古墳、19伝寛平法皇古墳、20大將軍遺跡、21離湖古墳、22岡古墳群、23日網野潟湖、24離湖
- **京丹後市域（福田川流域）** 16浅後谷南墓、17網野銚子山古墳、18小銚子古墳、19伝寛平法皇古墳、20大將軍遺跡、21離湖古墳、22岡古墳群、23日網野潟湖、24離湖
- **京丹後市域（丹波郡（竹野川上中流域））** 25扇谷遺跡、26途中ヶ丘遺跡、27古殿遺跡、28三坂神社墳墓群、29左坂墳墓群、30伝比丘屋敷墓、31赤坂今井壇丘墓、32大田南2・5号墳、33湧田山1号墳、34溝谷丸山古墳、35八幡山古墳群、36カジヤ古墳、37黒田2号墳、38新戸古墳、39桃谷1号墳
- **京丹後市域（熊野郡（川上谷川流域））** 40権現山古墳、41島茶臼山古墳、42岩ヶ鼻古墳、43平野古墳、44湯舟坂2号墳、45須田古墳群、46久美浜潟湖（久美浜湾）
- **与謝野町域（与謝郡（阿蘇海北岸））** 47千原遺跡、48難波野遺跡、49大風呂南墳墓群、50岩滝丸山古墳、51法王寺古墳、52阿蘇潟湖（阿蘇海）
- **与謝野町域（野田川流域）** 53温江遺跡、54日吉ヶ丘遺跡、55寺岡遺跡、56須代遺跡、57明石大師山・愛宕山古墳群、58温江丸山古墳、59温江大塚古墳、60白米山古墳、61蛭子山古墳群、62作山古墳群、63鳴谷東1号墳、64後野円山1・2号墳、65七面山古墳、66休場西古墳、67入谷古墳群、68鞭谷5号墳、69ヤンダ古墳群、70滝岡田古墳、71小森山1号墳、72金屋上司古墳
- **宮津市域（与謝郡（大手川流域））** 73波路古墳
- **舞鶴市域（加佐郡（伊佐津川流域））** 74切山古墳

関連文化財群の取り組み例

丹後国関連文化財群2 丹後の鉄道と舞鶴軍港

■ **ストーリー** 明治22年(1889)に第4海軍区鎮守府を舞鶴に置くと定められたこと及び京都市への丹後ちりめんの運搬手段対策から、丹後における鉄道建設の機運が高まり、官設・私設ともに数多の敷設案が計画されました。当時の路線のうち、丹後を囲む官設2路線(舞鶴-豊岡間の宮津線の一部、京都丹後鉄道宮舞線と宮豊線)及び宮津と福知山を結ぶ官設1路線(京都丹後鉄道宮福線)が今も現役です。また、この時代の鉄道熱を象徴する動きとして、現在は廃線になっていますが、大正から昭和にかけて、地元住民の出資による小規模な鉄道「加悦鉄道」「北丹鉄道」も敷設されました。

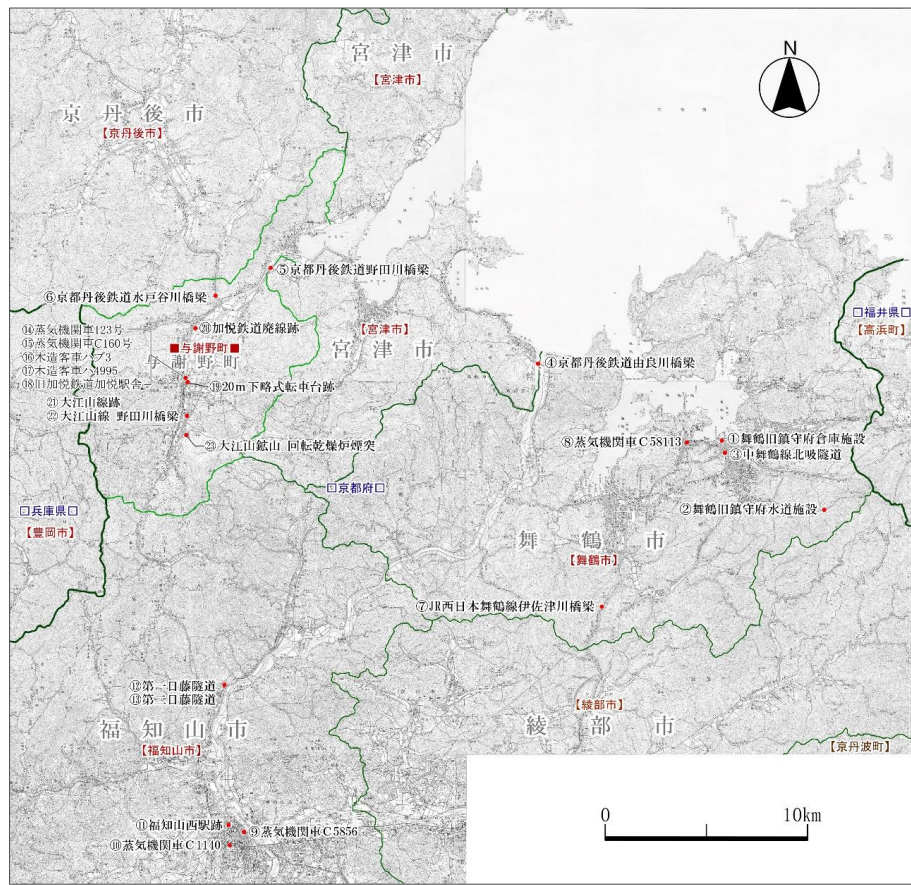
■ **課題** 構成文化財の旧加悦鉄道加悦駅舎・旧加悦鉄道廃線跡や近代化の様子を伝える鉄道関係資料等の文化財の価値を共有するための情報発信と学ぶ場と活用が不足。これらを支える人材・組織も不足。

■ **方針** 地方鉄道と近代化の足取りを伝える情報発信と学ぶ場など「知る機会」の提供を推進し、保存・活用を支える人材・組織を作り出す。

■ **措置の一例** ※措置は末尾の一覧表を参照

- ・ **事業名** 文化財保存活用人材「文化財思いびと」育成事業
- ・ **事業内容** 来訪者への説明員の養成を行いつつ、発信・伝える人材「文化財思いびと」の育成に努める。「丹後の鉄道と舞鶴軍港」の現地説明ができる人材育成を実施する。
- ・ **実施体制** 行政(庁内連携:観光行政部署)
広域連携:京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署、京都府、海の京都DMO
- ・ **計画期間** R6~8

- ・ **事業名** 案内板設置事業
- ・ **事業内容** 来訪者の便宜を図るために、旧加悦鉄道加悦駅舎や加悦伝統的建造物群保存地区(通称、ちりめん街道)など要所にルート案内板を設置し、ちりめん街道との連動性と周遊性を高める。
- ・ **実施体制** 行政(庁内連携:観光行政部署)
広域連携:京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署、京都府、海の京都DMO
- ・ **計画期間** R6~8



構成文化財一覧

- **舞鶴市域** 1舞鶴旧鎮守府倉庫施設、2舞鶴旧鎮守府水道施設、3舞鶴線(軍港引き込み線)北吸燧道、4京都丹後鉄道由良川橋梁、7JR西日本舞鶴線伊佐津川橋梁、8蒸気機関車C58113
- **宮津市域** 京都丹後鉄道 由良川橋梁
- **福知山市域** 9蒸気機関車C5856、10蒸気機関車C1140、11北丹鉄道 福知山西駅跡、12北丹鉄道 第一日藤隧道、13北丹鉄道 第二日藤隧道
- **与謝野町域** 5京都丹後鉄道 野田川橋梁、6京都丹後鉄道 水戸谷川橋梁、14蒸気機関車123号(旧加悦鉄道2号)、15蒸気機関車C160、16木造客車ハブ3、17木造客車ハ4995、18旧加悦鉄道加悦駅舎、19旧加悦鉄道20m下路式転車台跡、20旧加悦鉄道廃線跡、21日本冶金専用鉄道 大江山線跡、22日本冶金専用鉄道 大江山線野田川橋梁、23大江山鉾山 回転乾燥炉煙突



丹後国関連文化財群 3

丹後ちりめん300年、絹が織りなす機屋文化

■ストーリー ガッチャン ガッチャンという機織りの音、丹後は古くから織物の里です。特に絹織物は、正倉院に伝わる奈良時代の「絶」、室町時代には都人の注文が相次いだ「丹後精好」、そして、江戸時代には峰山の絹屋佐平治・加悦谷の手米屋小右衛門・山本屋佐兵衛らが京都西陣の技術を習得して「丹後ちりめん織り」が始まります。丹後は、今も着物の生地約6割を生産する国内最大の絹織物産地です。そのしなやかで優れた染色性は、友禅染などの着物の代表的な生地として和装文化を支えてきました。

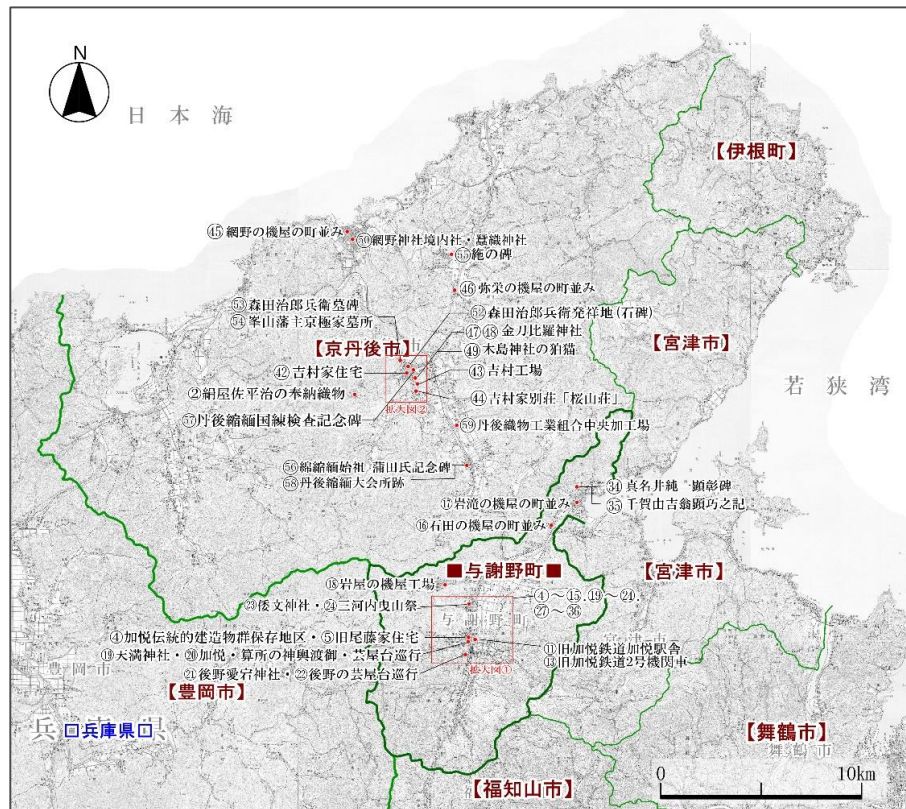
丹後機屋の衣食住の空間は機を中心に営まれ、住宅と機場が一体の一般機屋、大きな資本の織物工場、業界を取り仕切る商家建築、これらが相まって加悦伝統的建造物群保存地区（通称、ちりめん街道）など丹後の町並みをなしています。明治時代以降は交通物流網の整備として鉄道事業が進められ、各地で鉄道敷設要望運動が盛んでした。そうした中、加悦には国鉄が通らず、大正15年（1926）、丹後ちりめんの富は、ついに100%住民出資で加悦鉄道を開通させました。また、その富は、金刀比羅神社や天満神社、倭文神社などで伝統の氏神祭りとしても華を咲かせました。300年の絹織物産業が織りなした機屋文化は今も丹後人の暮らしの中に息づいています。

■課題 構成文化財の与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区・旧尾藤家住宅・氏神祭りなどの丹後ちりめん絹織物産業の展開と当地域の近代の足取りを伝える文化財の価値を共有するための情報発信と学ぶ場と活用が不足。これらを支える人材・組織も不足。

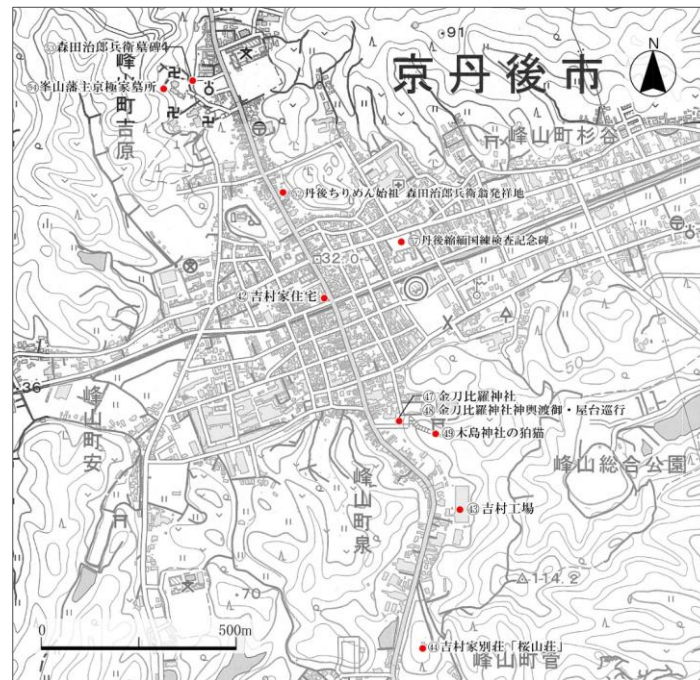
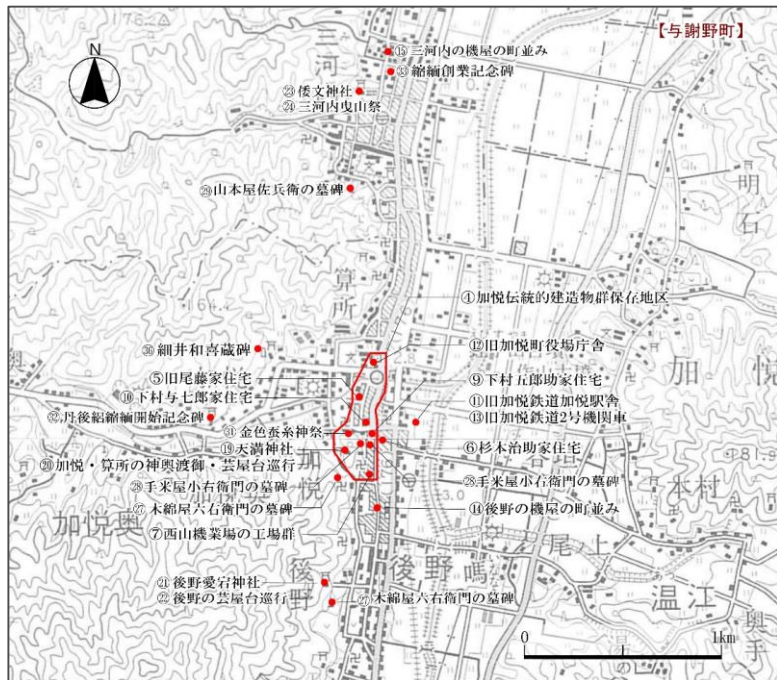
■方針 丹後ちりめん絹織物産業の展開と当地域の近代の足取りを伝える情報発信と学ぶ場など「知る機会」の提供を推進し、保存・活用を支える人材・組織を作り出す。

■措置の一例 ※措置は末尾の一覧表を参照

- ・事業名 **文化財保存活用人材「文化財思いびと」育成事業**
- ・事業内容 来訪者への説明員の養成を行いつつ、発信・伝える人材「文化財思いびと」の育成に努める。「丹後ちりめん300年、絹が織りなす機屋文化」の現地説明ができる人材育成を実施する。
- ・実施体制 行政（庁内連携：観光行政部署）
広域連携：京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署、京都府、海の京都DMO
- ・計画期間 R6～8



- ・事業名 **案内板設置事業**
- ・事業内容 来訪者の便宜を図るために、ちりめんの道の町並みなどの要所にルート案内板を設置し、周遊性を高める。
- ・実施体制 行政（庁内連携：観光行政部署）
広域連携：京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署、京都府、海の京都DMO
- ・計画期間 R6～8



構成文化財一覧

■ **織物技術** 1丹後ちりめん生地、2絹屋佐平治の奉納織物（禪定寺）、3八丁撚糸機C58113

■ **与謝野町域** 4加悦伝統的建造物群保存地区（通称、ちりめん街道）、5旧尾藤家住宅、6杉本治助家住宅、7西山機業場の工場群、8織物見本帖「橋立」、9下村五郎助家住宅、10下村与七郎家住宅、11旧加悦鉄道加悦駅舎、12旧加悦町役場庁舎、13旧加悦鉄道2号機関車（123号機関車）、14後野の機屋の町並み、15三河内の機屋の町並み、16石田の機屋の町並み、17滝の機屋の町並み、18岩屋の機屋工場（丹後ちりめん歴史館）、19天満神社本殿、20加悦・算所の神輿渡御・芸屋台巡行、21後野愛宕神社本殿、22後野の芸屋台巡行、23倭文神社本殿（建造物）、24三河内曳山祭、25丹後ちりめん岩屋踊り、26丹後ばらずし（与謝野タイプ）、27木綿屋六右衛門の墓碑（後野墓地）、28手米屋小右衛門の墓碑（吉祥寺）、29山本屋佐兵衛の墓碑（中岡墓地）、30織物始祖祭、31金色蚕糸神祭（実相寺）、32丹後縮緬開始記念碑、33縮緬創業記念碑、34千賀由吉翁顕功之記、35真名井純一顕彰碑、36細井和喜蔵碑、37縮緬機屋記録帳（三河内）、38縮緬機屋記録帳（算所）、39杉本治助家文書、40尾藤庄藏家文書、41下村五郎助家文書

■ **京丹後市域** 2絹屋佐平治の奉納織物、42吉村家住宅、43吉村工場、44吉村家別荘（桜山荘）、45網野の機屋の町並み、46弥栄の機屋の町並み、47金刀比羅神社本殿、48金刀比羅神社の神輿渡御・屋台巡行、49木島神社の狛猫、50網野神社境内社の蠶織神社本殿、51丹後ばらずし（京丹後タイプ）、52丹後ちりめん始祖 森田治郎兵衛翁発祥地、53森田治郎兵衛（絹屋佐平治）の墓碑（常立寺）、54峯山藩主京極家墓所（常立寺）、55絶の碑、56綿縮緬祖 蒲田氏記念碑、57丹後縮緬国練検査記念碑、58丹後縮緬大会所跡

関連文化財群の取り組み例

与謝野町関連文化財群 1

丹後与謝野の氏神祭、神輿渡御と屋台巡行

■ **ストーリー** 丹後の氏神祭はたくさんの祭り屋台があることが特徴です。特に、与謝野町内の氏神祭は、三河内祭の山屋台、加悦谷祭の後野と加悦・算所の芸屋台、これら以外の地域でも多くの太鼓屋台があります。後野の芸屋台での子供歌舞伎が華を添えています。与謝二ツ岩の担ぎ屋台は唯一現役の担ぎ屋台で、この地域の祭りが大正時代以降に一気に曳き屋台となる以前の江戸・明治時代の姿を伝えるものです。また、岩滝祭は4地区ともに神輿の渡御があり、神輿祭の風体が特徴となっています。毎年春、与謝野町は「祭りの町」となります。

■ **課題** 構成文化財の天満神社氏神祭など、与謝野町内の氏神祭は屋台の巡行・神輿の渡御・神楽舞・太刀振り・笹囃子など豊富な民俗芸能として丹後ちりめん絹織物産業の富が花開いたもので、その文化財の価値を共有するための情報発信と学ぶ場と活用が不足。これらを支える人材・組織も不足。

■ **方針** 丹後ちりめん絹織物産業の富が花開いた氏神祭の山と屋台の巡行・神輿の渡御・神楽舞・太刀振り・笹囃子など豊富な民俗芸能の情報発信と学ぶ場など「知る機会」の提供を推進し、保存・活用を支える人材・組織を作り出す。

■ **措置の一例** ※措置は末尾の一覧表を参照

- ・ **事業名** 案内板設置事業
- ・ **事業内容** 来訪者の便宜を図るために、各地区の公民館などの要所にルート案内板を設置し、周遊性を高める。
- ・ **実施体制** 行政（庁内連携：観光行政部署）
広域連携：京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署、京都府、海の京都DMO
- ・ **計画期間** R6～8

構成文化財一覧

■ **氏神の春例祭の民俗芸能** 1板列稲荷神社の春例祭の民俗芸能、2木積神社の春例祭の民俗芸能、3板列八幡神社の春例祭の民俗芸能（未指定・無形民俗文化財）、4大宮神社の春例祭の民俗芸能、5物部神社の春例祭の民俗芸能、6稲崎神社の春例祭の民俗芸能、7大命神社の春例祭の民俗芸能、8多田神社の春例祭の民俗芸能、9明境神社・小聖神社の春例祭の民俗芸能、10苦無神社・弥刀神社の春例祭の民俗芸能、11倭文神社の春例祭の民俗芸能、12八幡神社の春例祭の民俗芸能、13深田神社の春例祭の民俗芸能、14阿知江★部神社の春例祭の民俗芸能、15天満神社の春例祭の民俗芸能、16愛宕神社の春例祭の民俗芸能、17一宮神社・七谷神社・二宮神社の春例祭の民俗芸能、18大虫神社・小虫神社の春例祭の民俗芸能、19日吉神社・須代神社の春例祭の民俗芸能、20山添神社・愛宕神社・三谷神社・一之坂神社の春例祭の民俗芸能、21国守神社・長宮神社の春例祭の民俗芸能、22柴神社・二ツ岩神社の春例祭の民俗芸能、23上宮神社の春例祭の民俗芸能、24下宮神社・武神社の春例祭の民俗芸能、25宇豆貴神社の春例祭の民俗芸能、26菊部神社の春例祭の民俗芸能、27畠中神社の春例祭の民俗芸能、28鎌倉神社・厳島神社の春例祭の民俗芸能

■ **その他** 29岩滝大名行列、30丹後ばらすし（与謝野タイプ）、31与謝野メうどん



関連文化財群の取り組み例

丹後国関連文化財群 4 丹後の鬼の伝承と異界の扉

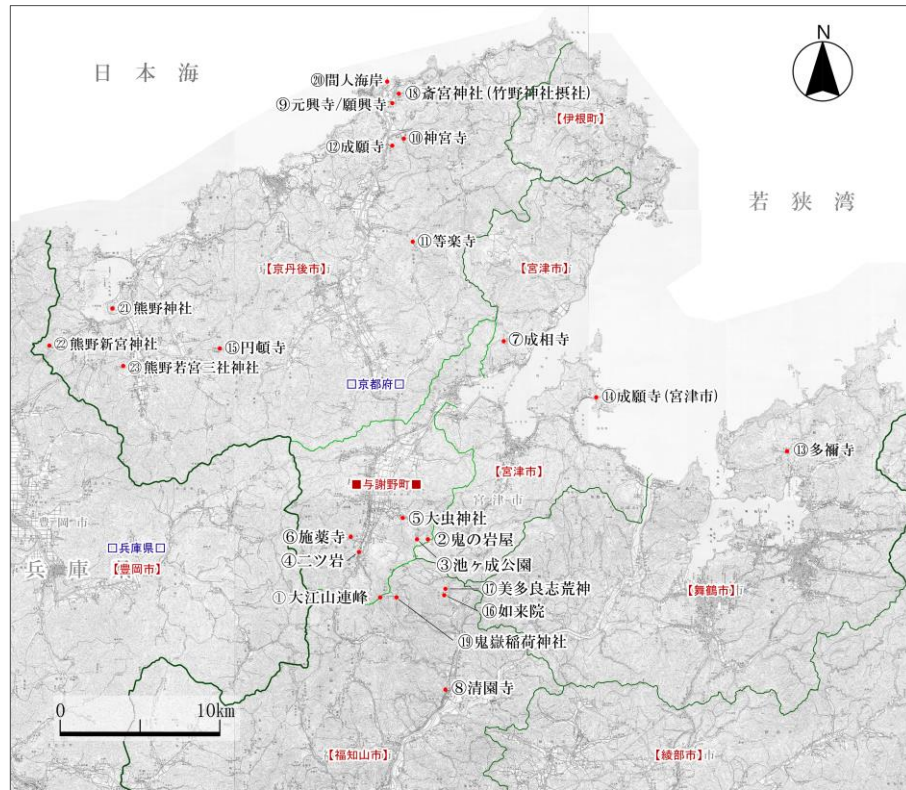
■ **ストーリー** 丹後には大江山には、源頼光の酒吞童子退治や麻呂子皇子の鬼退治の伝承があります。これらは京の都からみた鬼の棲む辺境の地・丹後、という視点でみると単なるおとぎ話になってしまいます。しかしそうではなく、鬼退治の舞台が丹後であり、鬼の所業が都にとって看過できないほど重大なこととして捉えられているという視点で読み解いた時、丹後という地の重要性が浮かび上がってきます。鬼とは何でしょうか。鬼退治に向かった源頼光が修験者の姿をしているのは何故でしょうか。何故、聖徳太子の異母弟の麻呂子皇子が鬼退治をしたのでしょうか。これらの疑問を紐解くキーワードに境界というものがあります。境界とは、交通の要衝でもあり、人々が往来し、富や技術などが集積する地点で、丹後もそういう場所で、違う世界に通じるところと考えられていました。つまり、丹後への風土観念が持つ「異界に近い境界性」が鬼退治伝承の物語を大きく育てたのでしょう。

■ **課題** 構成文化財の構成文化財の大虫神社本殿・二ツ岩などの大江山の鬼伝承を伝える文化財の価値を共有するための情報発信と学ぶ場と活用が不足。これらを支える人材・組織も不足。

■ **方針** 大江山の鬼と異界性の情報発信と学ぶ場など「知る機会」の提供を推進し、保存・活用を支える人材・組織を作り出す。

■ **措置の一例** ※措置は末尾の一覧表を参照

- ・ **事業名** 文化財保存活用人材「文化財思いびと」育成事業
- ・ **事業内容** 来訪者への説明員の養成を行いつつ、発信・伝える人材「文化財思いびと」の育成に努める。「丹後の鬼の伝承と異界の扉」の現地説明ができる人材育成を実施する。
- ・ **実施体制** 行政（庁内連携：観光行政部署）
広域連携：京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署、京都府、海の京都DMO
- ・ **計画期間** R6～8



■ **構成文化財一覧**

- **与謝野町域** 1大江山連峰、2鬼の岩屋、3池ヶ成公園、4二ツ岩、5大虫神社本殿、6施葉寺本堂
- **福知山市域** 1大江山連峰、8清園寺本堂、16如来院本堂、19鬼嶽稲荷神社本殿
- **京丹後市域** 9元興寺跡/願興寺跡、10神宮寺跡、11等楽寺本堂、12成願寺跡、15円頓寺本堂、17美多良志荒神本殿、18末社齋宮神社本殿（竹野神社）、20間人海岸、21熊野神社本殿、22熊野新宮神社本殿、23熊野若宮三社神社本殿
- **宮津市域** 1大江山連峰、7成相寺旧境内、14成願寺本堂
- **舞鶴市域** 13多禰寺本堂

関連文化財群の取り組み例

丹後国関連文化財群 5

名勝「天橋立」の美、心が語る文学・芸術

■ **ストーリー** 浅瀬の海を区切る一筋の白砂青松。その摩訶不思議な天橋立の景観は、古来より、難波野遺跡のように祭祀の舞台となり、成相寺や籠神社、智恩寺など多くの寺社を作り、宗教的空間と政治的空間が融合する文化景観となりました。江戸時代には日本三景の一つとされ、現在では「飛龍観」「一字観」「昇龍観」「斜め一字」「雪舟観」「天平観」などと命名され、様々な眺望地が整えられています。そして、丹後国風土記逸文「天橋立」や雪舟「天橋立図」、小式部内侍や与謝野鉄幹・晶子らの作品など数多くの絵画・短詩を創り出し、文学・芸術の創作意欲を刺激されずにはいられない心の景観として人々を創造の世界へとといざなっています。

■ **課題** 構成文化財の一字観公園などの天橋立を愛でる景観地にある文化財の価値を共有し、世界遺産の登録を目指す上でも、情報発信と学ぶ場と活用が不足。これらを支える人材・組織も不足。

■ **方針** 京都府・宮津市と連携し、天橋立の景観地の情報発信と学ぶ場など「知る機会」の提供等さまざまな取り組みを推進し、保存・活用を支える人材・組織を作り出す。

■ **措置の一例** ※措置は末尾の一覧表を参照

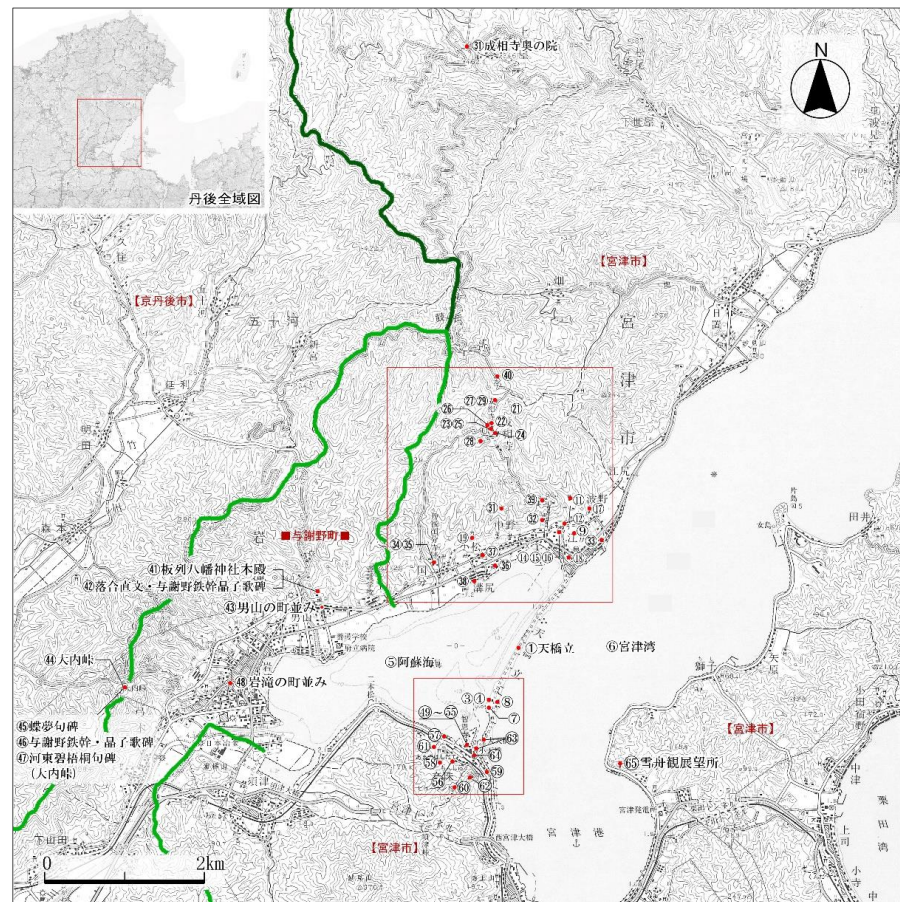
- ・ **事業名** 案内板設置事業
- ・ **事業内容** 来訪者の便宜を図るために、一字観公園などの要所にルート案内板を設置し、周遊性を高める。
- ・ **実施体制** 行政（庁内連携：観光行政部署）
広域連携：京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署、京都府、海の京都DMO
- ・ **計画期間** R6～8

構成文化財一覧

■ **宮津市域** 1天橋立、2雪舟筆「天橋立図」、3天橋立神社本殿、4磯清水、5阿蘇海、6宮津湾、7与謝蕪村句碑、8与謝野鉄幹晶子歌碑、9難波野遺跡、10真名井神社、11真名井神社本殿、12真名井川、13籠神社、14籠神社本殿、15末社恵比寿神社本殿、16籠神社石造狛犬、17籠神社本殿、18江之姫神社本殿、19天神神社本殿、20成相山、21成相寺、22成相寺本堂、23成相寺鎮守堂、23成相寺鐘楼、25成相寺鉄湯船、26成相寺板碑群、27成相寺旧境内、28成相寺のタブノキ、29成相寺の逆スギ、30成相寺奥の院、31成相寺参詣道、32大谷寺本堂、33慈光寺本堂、34丹後国分寺跡、35国分寺本堂、36飯役社、37府中の町並み、38溝尻の舟屋、39傘松公園（斜め一字、昇龍観）、40成相山山顶展望台、49智恩寺、50智恩寺多宝塔、51智恩寺三保呂塚、52智恩寺文殊堂、53智恩寺石造宝篋印塔、54智恩寺鉄湯船、55智恩寺石造地藏菩薩立像、56智恩寺「対潮庵」跡（悠龍観）、57三角五輪塔、58保昌塚、59涙ヶ磯、60玄妙遊園（飛龍観）、61桜山展望所、62昭和天皇御製歌碑、63大天橋小天橋、64智恩寺門前町、65雪舟観展望所

■ **与謝野町域** 5阿蘇海、41板列八幡神社本殿、42落合尚文与謝野鉄幹晶子歌碑、43男山の町並み、44大内峠（一字観）、45蝶夢句碑、46与謝野鉄幹晶子歌碑、47河東碧梧桐句碑、48岩滝の町並み

■ **舞鶴市域・伊根町域** 66冠島・沓島、67宇良神社本殿、68新井崎神社本殿



与謝野町関連文化財群 2

名峰「大江山」の裾野、蕪村が観た与謝の景観

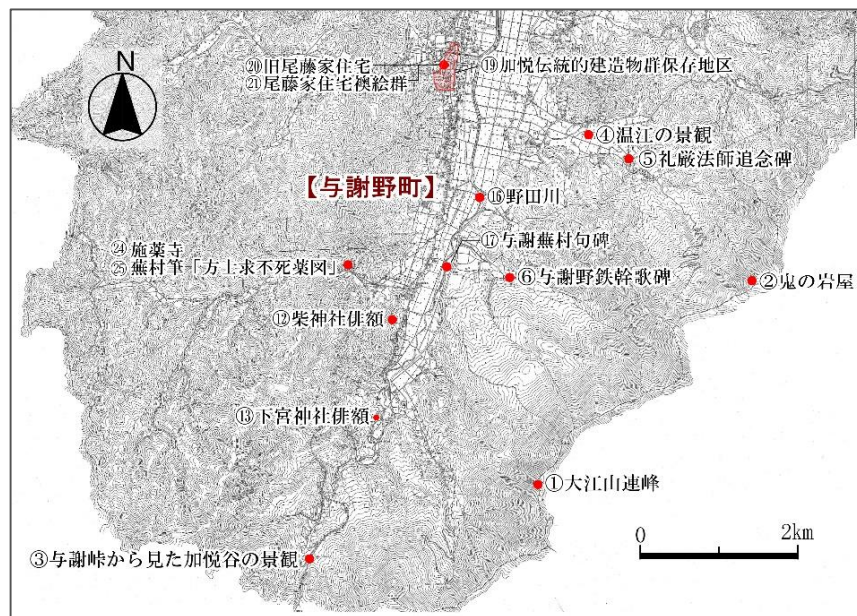
■ **ストーリー** なだらかな稜線の連なりが単独峰にはない美しさをもつ大江山連峰。丹後半島を区切るこの連峰は与謝峠からの加悦谷平野の眺望をも生み出すと同時に、その奥にある仙境としての天橋立や浦島伝説の残る伊根へと至る道中の門として立ちはだかり、鬼退治伝説が生まれるなど、さまざまな文学的イメージを醸成しました。江戸時代にこの地を訪れた蕪村は多くの絵画作品を残し、また大江山に取材した俳句作品を後年に至るまで残しています。近世・近代には蕪村来訪以降も富岡鉄斎や与謝野鉄幹・晶子などさまざまな文人・墨客が訪れ、大江山とその裾野にひろがる風光を文学的・芸術的源泉として自作品に昇華しています。大江山の山容や自然、そして裾野に広がる景観は、この地を訪れた文人たちが抱かずにはいらなかった創作意欲の源を今日に至るまで保っており、現代の歌枕として生き続けています。

■ **課題** 構成文化財の大江山連峰と加悦谷の景観とこれらに関する短詩文学作品などの文化財の価値を共有するための情報発信と学ぶ場と活用が不足。これらを支える人材・組織も不足。

■ **方針** 大江山連峰と加悦谷の景観とこれらに関する短詩文学作品などの情報発信と学ぶ場など「知る機会」の提供を推進し、保存・活用を支える人材・組織を作り出す。

■ 措置の一例 ※措置は末尾の一覧表を参照

- ・ **事業名** 案内板設置事業
- ・ **事業内容** 来訪者の便宜を図るために、加悦伝統的建造物群保存地区（通称、ちりめん街道）などの要所にルート案内板を設置し、周遊性を高める。
- ・ **実施体制** 行政（庁内連携：観光行政部署）
広域連携：京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署、京都府、海の京都DMO
- ・ **計画期間** R6～8



構成文化財一覧

- **大江山** 1大江山連峰、2鬼の岩屋、3与謝峠からみた加悦谷の景観、4温江の景観、5礼厳法師追念碑、6与謝野鉄幹歌碑、7鉄幹色紙「飛ぶ雲に～」、8鉄幹掛軸「雲早し～」、9晶子「大江山詠草六首屏風」、10晶子掛軸「小半日～」、11温江妙見堂俳額、12柴神社俳額、13下宮神社俳額、14和泉式部の和歌「まぢびとは～」、15光俊朝臣の和歌「はるがすみ～」
- **野田川** 16野田川、17与謝蕪村句碑「夏河を～」、18野田川のサケの遡上
- **町並み** 19加悦伝統的建造物群保存地区（通称、ちりめん街道）、20旧尾藤家住宅、21尾藤家住宅襖絵群、22鉄斎の硯と墨、23鉄斎筆「白雲双肩・煙波世界」
- **蕪村** 24施薬寺本堂、25蕪村筆「紙本墨書 方士求不死薬図」、26蕪村筆「山水花鳥人物図」、27蕪村筆「天橋図賛」、28蕪村筆「三つの朝自画賛」、29蕪村筆「白拍子自画賛」



文化財保存活用区域の取り組み例

与謝野町文化財保存活用区域 1

丹後ちりめん、与謝野道エリア

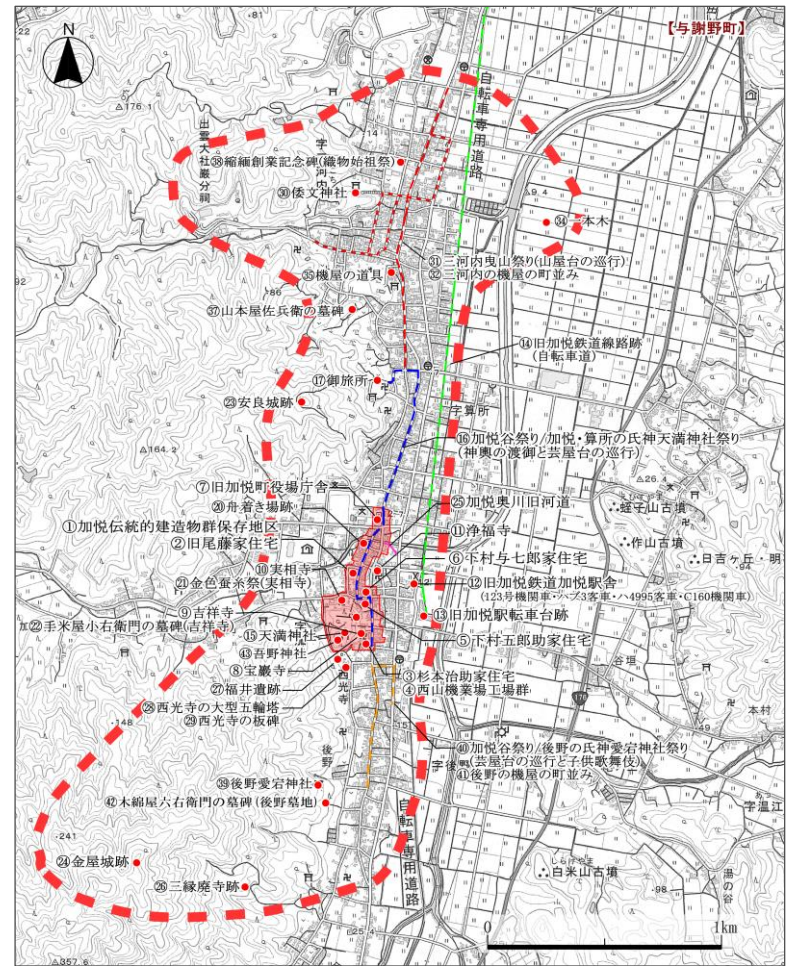
■概要 野田川の左岸の山裾を通る丹後往還の道沿いとその周辺に展開する文化財の集中区域で、三河内区・算所区・加悦区・後野区・金屋区に展開します。区域内の文化財の主な特徴は、歴史的町並み・在郷町・城郭・氏神祭りです。加悦伝統的建造物群保存地区（通称、ちりめん街道）を核としたこの区域は、鎌倉時代から明治・大正・昭和時代の地域の政治経済の中心域であり続けましたので、各時代の中核的な文化財が重層的に分布しています。鎌倉時代の大規模墓地の福井遺跡は、かつてこの地域に市場村が存在したことを示しています。金屋城跡や安良城跡は戦国時代から織豊期に有力国人層の地盤地域だったことを示しています。江戸時代以降は在郷町として地域の拠点であり続け、尾藤家住宅などの歴史的町並みが形成されました。明治・大正・昭和時代では、丹後ちりめん織物産業と電気・鉄道・電信電話・銀行など近代インフラが早く整備された地域でした。織物産業の富は氏神祭りとして結晶し、今も地域に受け継がれています。

■課題 加悦伝統的建造物群保存地区（通称、ちりめん街道）・安良城跡・金屋城跡・福井遺跡などの野田川左岸の山裾を南北にのびる街道とその周辺に帯状に分布する区域内の文化財の価値を共有するための情報発信と学ぶ場と活用が不足しています。また、これらを支える人材・組織も不足しています。／当区域の歴史文化の特徴は、文化財が街道を中心として帯状に分布する点にあり、人口減少と開発による街道景観の変化が危惧されます。

■方針 加悦伝統的建造物群保存地区（通称、ちりめん街道）を中心として帯状に分布する多様な文化財を有する本エリアの情報発信と学ぶ場など「知る機会」の提供を推進し、保存・活用を支える人材・組織を作り出します。／当区域の歴史文化の特徴である山裾にのびる街道とその周辺に展開する文化財を有するエリアの景観の保全を維持する仕組みを作り出します。

■措置の一例 ※措置は末尾の一覧表を参照

- ・事業名 **国重伝建加悦保存地区修理修景事業**
- ・事業内容 国重伝建加悦保存地区の伝統的建造物の保存のための修理修景事業を推進。小修理の実施やモニタリングの実施の必要性を周知。
- ・実施体制 与謝野町（庁内連携：観光行政部署）・専門家・町民
- ・計画期間 令和4～8年度



区域内の文化財一覧

- 1加悦伝統的建造物群保存地区（通称、ちりめん街道）、2旧尾藤家住宅、3杉本治助家住宅、4西山機業場の工場群、5下村五郎助家住宅、6下村与七郎家住宅、7旧加悦町役場庁舎、8宝蔵寺本堂、9吉祥寺本堂、10実相寺本堂、11淨福寺本堂、12旧加悦鉄道加悦駅舎、13旧加悦駅転車台跡、14旧加悦鉄道線路跡（自転車道）、15天満神社本殿、16加悦谷祭り：加悦・算所の氏神天満神社祭り（神輿の渡御と芸屋台の巡行）、17御旅所、18加悦の絵図、19算所の絵図、20舟着き場跡、21a金色蚕糸神祭（実相寺）、21b織物始祭、22手米屋小右衛門の墓碑（吉祥寺）、23安良城跡、24金屋城跡、25加悦奥川旧河道、26三縁寺廃寺跡、27福井遺跡、28西光寺の大型五輪塔、29西光寺の板碑、30倭文神社本殿、31三河内曳山祭り、32三河内の機屋の町並み、33三河内の絵図、34一本木、35機屋の道具、36丹後ばらずし（与謝野タイプ）、37山本屋佐兵衛の墓碑（中岡墓地）、38縮緬創業記念碑、39後野愛宕神社拝殿、40加悦谷祭り：後野の氏神愛宕神社祭り、41後野の機屋の町並み、42木綿屋六右衛門の墓碑（後野墓地）、43吾野神社本殿、44織物の機音「ガッチャン ガッチャン」

文化財保存活用区域の取り組み例

与謝野町文化財保存活用区域 2

与謝野大江、山の辺の古道エリア

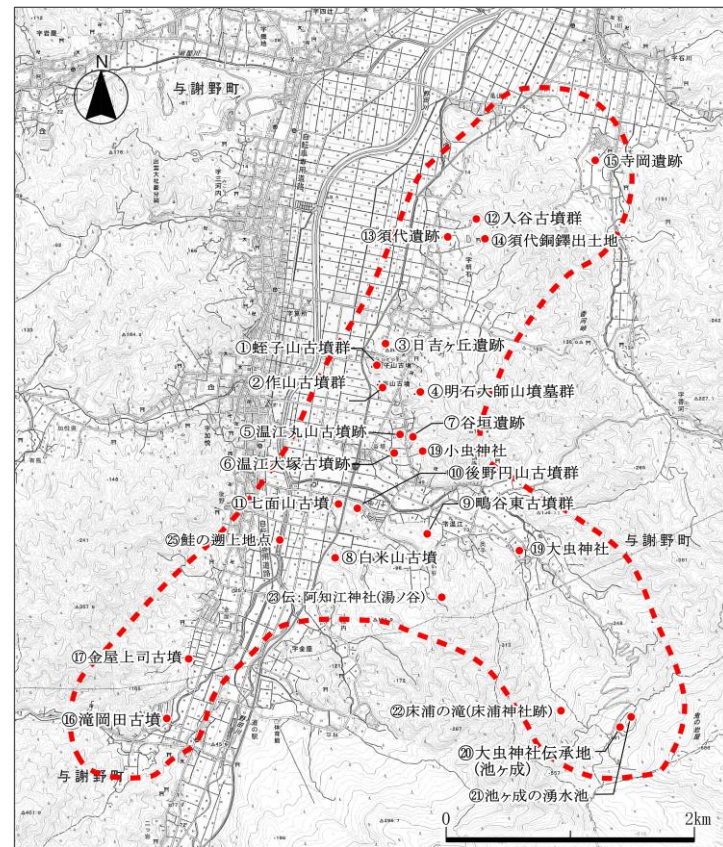
■概要 野田川の主に右岸の山裾・山中に展開する文化財の集中区域で、石川区・明石区・温江区・後野区に展開します。区域内の文化財の主な特徴は、大型古墳・清水信仰・鬼退治伝説です。国指定文化財（史跡）「蛭子山古墳」を核としたこの区域は、弥生時代には日吉ヶ丘貼石墓や環濠集落跡があり、古墳時代には大型古墳が集中するなどからわかるように、原丹後王国の南部中核圏でした。また、大虫神社跡伝承地や伝阿知江神社伝承地では大江山連峰からの若清水が滾々と湧き続ける清水信仰地でもあったと想像されます。また、大虫神社の犬鏡伝承は、丹後の南境界をビジュアル的に示す大江山連峰とその周辺には鬼退治伝説が根付き、異界性を有する地域として古代から人々に認識されてきました。

■課題 国史跡蛭子山古墳・大虫神社・池ヶ成の湧水地などの主に野田川右岸で大江山連峰の中腹・裾野の山中に分布する区域内の文化財の価値を共有するための情報発信と学ぶ場と活用が不足しています。また、これらを支える人材・組織も不足しています。／当区域の歴史文化の特徴は、主に大江山連峰の中腹・裾野に古代遺跡や古墳及び信仰に関する湧水地点がまとまって分布している点にあり、大規模な開発による自然景観の変化が危惧されます。

■方針 主に大江山連峰の中腹・裾野に古代遺跡や古墳及び信仰に関する湧水地点がまとまって分布する本エリアの情報発信と学ぶ場など「知る機会」の提供を推進し、保存・活用を支える人材・組織を作り出します。／当区域の歴史文化の特徴である主に大江山連峰の中腹・裾野に古代や古墳及び信仰に関する湧水地点がまとまって分布する本エリアの景観及び湧水地点の保全を維持する仕組みを作り出します。

■措置の一例 ※措置は末尾の一覧表を参照

- ・事業名 **現地周遊事業**
- ・事業内容 「与謝野大江、山の辺の古道エリア」区域内の歴史文化を理解するために、区域内の文化財の現地観察を実施し、保存への理解を促します。
- ・実施体制 与謝野町（庁内連携：観光行政部署）
- ・計画期間 令和5～7年度



区域内の文化財一覧

1蛭子山古墳、2作山古墳、3日吉ヶ丘遺跡、4明石大師山墳墓群、5温江丸山古墳跡、6温江大塚古墳跡、7谷垣、8白米山古墳、9鴨谷東古墳群、10後野円山古墳群、11七面山古墳、12入谷古墳群、13須代、14須代銅鐸出土地、15寺岡、16滝岡田古墳、17金屋上司古墳、18小虫神社本殿、19大虫神社本殿、20大虫神社伝承地（池ヶ成）、21池ヶ成の湧水池、22床浦の滝、23伝:阿知江神社本殿、24鮭の遡上地点



資料2 計画の骨子「課題一方針一措置」対応表

【事業期間】濃灰色セルは本格的な実施年度、薄灰色セルは準備・後処理など副次的な実施年度、【取組主体】◎は中心的に取り組む主体、○は協働・連携して取り組む主体、【財源】民自は民間自費、他は寄付や民間補助金

課題／基本方針／事業名／事業内容	事業期間／令和					取組主体					備考
	4	5	6	7	8	行政	専門家	団体	町民	その他	
課題1 【調べる】文化財の価値を判断するための調査が不足しています。											
基本方針1 【調べる】文化財を調査・研究します。											
基本方針1-1 文化財の把握調査を継続実施します。											
1～24 文化財把握調査事業 ※第7章の措置で24事業に細分 文化財の現状把握調査を継続実施し、文化財台帳を作成します。						◎		○	○		3・4・6・7・12・14・15・18・20～22の11事業は次期以降の計画で実施
基本方針1-2 文化財の詳細調査・研究を行います。											
25～34 文化財詳細調査・研究事業 ※第7章の措置で10事業に細分 未指定文化財の文化財的な価値付けを明らかにするための調査・研究を実施します。						◎	○	○	○	○	文化財指定を視座して取り組む。27～29・31～34の7事業は次期以降の計画で実施
課題2 【受け継ぐ】文化財の保存・継承が危惧されます。											
基本方針2 【受け継ぐ】文化財を保存し、次世代へ継承します。											
基本方針2-1 文化財の適切な保存・修理や維持管理の体制・制度の整備を進めます。											
35～37 指定等文化財保存環境整備事業 ※第7章の措置で3事業に細分 指定等文化財を適切な状態で守り伝えるために保存環境の整備を進めます。						○		○	◎		36は次期以降の計画で実施
38 加悦伝統的建造物群保存地区修理修景事業 加悦伝統的建造物群保存地区の伝統的建造物の保存のための修理修景事業を推進します。						◎	○		◎		
39 加悦伝統的建造物群保存地区修理修景事務局体制整備検討事業 加悦伝統的建造物群保存地区を適切に保存・活用するためにするために、専門職員の配置に努め、専門機関との連携を強化し、適切な保存体制の整備を検討します。						◎					
40 加悦伝統的建造物群保存地区保存意識啓発事業 加悦伝統的建造物群保存地区の適切な保存を推進するため所有者や相続予定者に対して文化財の保存や継承に関する意識啓発を説明会等で繰り返し実施します。						◎				○	
41 加悦伝統的建造物群保存地区空き家対策推進事業 加悦伝統的建造物群保存地区の持続を図るため、空き家バンク制度や与謝野町移住定住促進制度を運用し、居住者・利用者を募ります。						◎				○	
42 与謝野町文化財保護補助事業制度再検討事業 補助制度の上限額の適正・無形民俗文化財など物品整備の補助対象範囲・加悦伝統的建造物群保存地区の補助率の適正に関して再検討に努めます。											次期以降の計画実施 ◎
43 滝の千年椿樹勢回復事業 長寿な巨樹の京都指定文化財（天然記念物）「滝のツバキ」を保存するため、定期的な樹勢診断をし、適切に回復事業を継続実施します。						◎	○	◎			

44 古文書等防虫・防カビ事業 保管する古文書等を保存するため、防虫剤の交換や燻蒸を継続実施します。	●																	防虫剤交換は年2回・燻蒸は3年に1回を実施
45 文化財収蔵施設整備検討事業 増え続ける資料を保管するために、新たな文化財収蔵施設の確保に努めます。保育所・小学校の統合で空いた施設の利用を検討します。	●																	
基本方針2-2 文化財の新規の指定等を進めます。																		
46~48 与謝野町新規文化財指定等推進事業 ※第7章の措置で3事業に細分 文化財的な価値を明らかにするために、詳細調査と研究を行い、新規の与謝野町文化財指定等を実施し、保存を図ります。	●	○	○	○														2年毎に新規財指定等 48は次期以降の計画で実施
基本方針2-3 防災・防犯対策に取り組みます。																		
49 防災・防犯意識啓発事業 文化財防火デーに合わせて文化財の防災意識を喚起する告知を実施します。	●																	
50 日常点検事業 管理台帳を整備し、日常的な点検の実施を推進します。	○																	中心取組主体：所有者・管理責任者
51 防災体制整備事業 消防計画の作成・定期的な防災訓練の実施を推進します。	○																	中心取組主体：所有者・管理責任者
52 防火体制整備事業 防火・初期消火設備の整備及び延焼防止策の充実を推進します。	○																	中心取組主体：所有者・管理責任者
53 防犯体制整備事業 施錠等侵入防止措置・カメラ等防犯設備の設置及び警報設備の充実を推進します。	○																	中心取組主体：所有者・管理責任者
54 加悦伝統的建造物群保存地区の防災対策事業 防災事業の実施計画を策定します。地区内住民に対し、防火・防災に関するパンフレットの配布、研修会の実施などにより意識啓発を行います。並行して共同消防訓練の実施及び消火設備の充実を推進します。	○																	中心取組主体：行政・所有者・管理責任者
55 災害時の体制整備事業 災害時の被害状況調査・被災した文化財レスキュー活動や文化財の修理方法の指導・助言を行う体制の整備を推進します。	●	○																中心取組主体：行政・専門家
56 与謝野町文化財防災防犯マニュアル整備事業 建造物や美術工芸品を災害や盗難から守るための対策マニュアルを整備します。	●	○																中心取組主体：行政・専門家・所有者

課題3 【知 る】文化財の価値を共有するための情報発信と学ぶ場が不足しています。

基本方針3 【知 る】文化財の情報発信と学ぶ場の提供を推進します。

基本方針3-1 展示施設・情報発信施設・説明設備の充実を図ります。

57~60 文化財解説情報発信力向上事業 ※第7章の措置で4事業に細分 説明・案内の情報発信能力の向上を図ります。現地説明板・案内板の設置、文化財冊子の作成、インターネットなどで実施します。	◎ ○ ○ ○ ○	市内連携：観光行政部署	説明板は毎年数件に設置 58・60は時期以降の計画で実施
61・62 ちりめん街道魅力化推進事業 ※第7章の措置で2事業に細分 加悦伝統的建造物群保存地区（通称、ちりめん街道）が持つ当地域の歴史文化情報の発信を向上させ、住民だけでなく、来訪者にもわかり易くメッセージ性にあるものにします。	◎ ○ ○ ○ ○	市内連携：観光行政部署・商工行政部署・企画行政部署	拠点の整備と集約性、拠点と周辺の周遊性、機音の体感
63~65 展示施設再構築検討事業 ※第7章の措置で3事業に細分 歴史文化施設並びに文芸施設の展示の更新・質の向上、情報発信力の整備、効率的な管理運営を検討します。	◎ ○ ○ ○ ○	市内連携：観光行政部署・農林行政部署、 広域連携：京都府立丹後郷土資料館・京丹後市、その他連携：指定管理者	古代王墓、巨樹と里山文化、大江山鉱山 65は次期以降の計画で実施
66・67 歴史文化物語絵本制作検討事業 ※第7章の措置で2事業に細分 親しみやすい形で歴史文化情報を発信するために、人を主人公として地域の歴史文化を紹介する物語を検討します。	◎ ○ ○ ○ ○	次期以降の計画で実施 市内連携：観光交流課 その他連携：指定管理者	関連文化財群・文化財保存活用区域とも連動
68 原丹後王国情報発信拠点整備検討事業 与謝野町立古墳公園を、弥生王墓と巨大古墳で代表される原丹後王国の情報発信拠点・周遊拠点として整備を検討します。	◎ ○ ○ ○ ○	市内連携：観光行政部署、広域連携：京都府立丹後郷土資料館・京丹後市	関連文化財群・文化財保存活用区域とも連動
69 氏神祭り文化情報発信拠点整備検討事業 地域の個性ある氏神祭りを保存・継承するため、教育文化施設を祭り文化や生活文化を紹介する内容に再構築を検討し、与謝野町内の氏神祭り文化の発信を目指します。	◎ ○ ○ ○ ○	市内連携：観光行政部署 町内連携：町民有志	関連文化財群・文化財保存活用区域とも連動
70 歴史文化施設・文芸施設等愛称検討事業 住民や来訪者に、施設の特性が親しみ易く・わかり易く伝わる施設の愛称を検討します。	◎ ○ ○ ○ ○	次期以降の計画で実施 市内連携：観光行政部署	
71 歴史文化施設・文芸施設等持続的管理運営方法検討事業 将来にわたり歴史文化施設・文芸施設等を公開活用して地域情報を発信し続けるための持続可能な管理運営方法を検討します。	◎ ○ ○ ○ ○	市内連携：観光行政部署 その他連携：指定管理者	
72 与謝の鮭の遡上を通じた景観保全事業 住民の関心が高い自然環境分野の取り組みとして、野田川を遡上するサケの観察と紹介を通じて、野田川の自然環境の保全につなげます。	◎ ○ ○ ○ ○	次期以降の計画で実施 市内連携：住環境行政部署・農林水産行政部署・景観行政部署・下水道行政部署・学校教育行政部署	事業の紹介は与謝野町有線テレビでの放送を基本として、web上での公開も図る
73 大江山・阿蘇海の文学作品を通じた景観保全事業 住民の関心が高い景観分野のうち、大江山・阿蘇海・天橋立を対象とした景観文学の紹介・創作を通じて、住民や開発業者に理解を促し、文化的景観の保全につなげます。	◎ ○ ○ ○ ○	次期以降の計画で実施 市内連携：住環境行政部署・農林水産行政部署・景観行政部署・下水道行政部署・学校教育行政部署	事業の紹介は与謝野町有線テレビでの放送を基本として、web上での公開も図る

基本方針3-2 学校教育を通じて、児童生徒たちの関心を高めます。

74・75 教育機関連携事業 ※第7章の措置で2事業に細分

与謝野町内の小学校・中学校・高等学校の教育学習カリキュラムに沿う形で、歴史文化に関する出前授業や歴史文化施設・文芸施設の解説を実施します。

庁内連携：学校教育行政部署

出前授業
学校教育ニーズ調査

基本方針3-3 住民の関心を高め、文化財の価値を共有します。

76 地元歴史文化物語づくり事業

自治区を中心として文化財を見て・歩き、自治区関連文化財群の作成・発表を通して、地区アイデンティティーの醸成を図ります。

その他連携：自治区

77 講座・シンポジウム事業<丹後国の中世・戦国「地蔵山遺跡の時代」>

鎌倉・室町時代／戦乱の時代の大規模墓地の地蔵山遺跡を通じて、中世の当地域の様子を探求し、歴史文化の基層を明らかにします。

課題4 【活かす】文化財の活用が不足しています。

基本方針4 【活かす】文化財を活かして輝かせます。

基本方針4-1 利用・見学しやすい環境を整備します。

78 案内板設置事業

来訪者の便宜を図るために、要所にルート案内板を設置します。

庁内連携：観光行政部署

周遊性を高める

79 遺跡環境維持管理事業

与謝野町が管理する町・京都府・国史跡の草刈り等を継続実施します。

80 史跡整備検討事業

与謝野町が管理する町・京都府・国史跡の園路等の整備を検討します。

次期以降の計画で実施

対象は、地蔵山遺跡の園路再整備ほか

81 与謝野町立古墳公園開園方法検討事業

開かれた与謝野町立古墳公園としての開園方法・利用方法を検討します。

基本方針4-2 見学コースやツアーを企画・提供します。

82 現地周遊事業<丹後国の中世・戦国「地蔵山遺跡の時代」>

丹後を代表する中世・戦国時代の大規模墓地の地蔵山遺跡とその時代を理解するために、関連する遺跡などの現地観察を実施します。

広域連携：京都府立丹後郷土資料館、宮津市

83 現地周遊事業<丹後国の中世・戦国「砦城跡」>

丹後の中世・戦国時代を象徴する「砦城跡」とその時代を理解するために、関連する遺跡などの現地観察を実施します。

次期以降の計画で実施
広域連携：京都府立丹後郷土資料館、宮津市、京丹後市、舞鶴市、福知山市、海の京都DMO

基本方針4-3 民間組織による活用事業への支援を行います。

84 民間による活用活動支援事業

民間活動団体等に対して、文化財活用支援事業の情報提供を行います。また、民間による活用活動に対する与謝野町独自の補助制度を検討します。

次期以降の計画で実施	◎								
------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

85 加悦伝統的建造物群保存地区保存・活用活動支援事業

ちりめん街道を守り育てる会等の団体に対して、与謝野町との連携を深め、活動情報の提供・活動資金の支援を行います。

						◎				○
--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	---

課題5 【支える】歴史文化を担う人材・組織が不足しています。

基本方針5 【支える】文化財で人材・組織をつなげ、「文化財思いびと」を育成します。

基本方針5-1 情報共有・連携のための場を整備します。

86 歴史文化情報意見共有「有志の会」と謝野町歴史文化まちづくり懇談事業

住民と協働した文化財事業を推進するための機会「与謝野町歴史文化まちづくり懇談会（仮称）」を設置します。

						◎				○
--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	---

87 文化財関係機関広域連携連絡会事業

与謝野町と周辺自治体及び関係機関と広域な枠組みで情報共有を行い、連動したテーマ・方向性で事業展開を推進します。

						◎				
--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--

丹後国関連文化財群と関連の京都DMO

基本方針5-2 自立的に学び・伝える人材「文化財思いびと」の育成に努めます。

88 文化財保存活用人材「文化財思いびと」育成事業

地域の歴史文化の成り立ちに対して、自発的に疑問を持ち、解明し、発信・伝える人材「文化財思いびと」の育成に努めます。

						◎	○		○	○
--	--	--	--	--	--	---	---	--	---	---

庁内連携：観光行政部署

課題6 【創る】丹後国・与謝野町の歴史文化の特徴を体感したいと思わせるストーリーの創出と発信が不足しています。

基本方針6 【創る】丹後国・与謝野町の歴史文化の特徴を表現するストーリーを創り・広め・定着させます。

基本方針6-1 丹後国・与謝野町という言葉から当地域の歴史文化のイメージ像が湧くようにします。

57 丹後国・与謝野町関連文化財群情報発信事業

59 当地域の歴史文化の特徴を表す丹後国関連文化財群及び与謝野町関連文化財を活用して、現地周遊・講座・シンポジウムの開催、説明力育成、文化財思いびと育成などを行い、丹後国域の歴史文化の特徴「異界への扉、丹後国「港」と与謝野町域の歴史文化の特徴「阿蘇海と大江山とに囲まれて-海陸クロスロード-」を周知します。

						◎	○			
--	--	--	--	--	--	---	---	--	--	--

庁内連携：観光行政部署
広域連携：京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署や京都府や海の京都DMO

各事業は、関連文化財群の項目で記載

38 与謝野町文化財保存活用区域情報発信事業

40・41 57・59 77・82 85・88 89 当地域の歴史的に重要な文化財が特定のエリアに多数集中している区域の与謝野町文化財保存活用区域を活用して、現地周遊・講座・シンポジウムの開催、説明力育成、文化財思いびと育成などを行い、与謝野町域の歴史文化の特徴「阿蘇海と大江山とに囲まれて-海陸クロスロード-」を周知します。

						◎	○			
--	--	--	--	--	--	---	---	--	--	--

庁内連携：観光行政部署

各事業は、文化財保存活用区域の項目で記載

関連文化財群活用事業

課題 構成文化財の価値を共有するための情報発信と学ぶ場と活用が不足しており、また、これらを支える人材・組織が不足しています。

基本方針 情報発信と学ぶ場など「知る機会」の提供を推進し、保存・活用を支える人材・組織を作り出します。

57 案内板設置事業		<p>市内連携：観光行政部署 広域連携：京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署や京都府や海の京都DMO</p>	
来訪者の便宜を図るために、構成文化財の近くの要所にルート案内板を設置し、周遊性を高めます。			
59 ガイド情報誌作成事業		<p>市内連携：観光行政部署 広域連携：京丹後市・伊根町・与謝野町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署や京都府や海の京都DMO</p>	<p>1 いにしへの王「原丹後王統譜」 2 丹後鉄道と舞鶴軍港</p>
来訪者の便宜を図るために、見学用ガイド情報誌を作成します。			
77 講座・シンポジウム事業		<p>市内連携：観光行政部署 広域連携：京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署や京都府や海の京都DMO</p>	<p>3 丹後ちりめん300年、絹が織りなす機屋文化 4 丹後与謝野の氏神祭、神輿渡御と屋台巡行</p>
関連文化財群のストーリーテーマに沿った講座・シンポジウムを通じて、当地域の歴史文化の特徴の基層を明らかにします。			
82 現地周遊事業		<p>市内連携：観光行政部署 広域連携：京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署や京都府や海の京都DMO</p>	<p>5 丹後の鬼の伝承と異界の扉 6 名勝「天橋立」の美、心が語る文学・芸術</p>
現地周遊事業を実施し、保存への理解を促します。			
88 文化財保存活用人材「文化財思いびと」育成事業		<p>市内連携：観光行政部署 広域連携：京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署や京都府や海の京都DMO</p>	<p>7 名峰「大江山」の裾野、蕪村が観た与謝の景観</p>
地域の歴史文化の成り立ちに対して、自発的に疑問を持ち、解明し、発信・伝える人材「文化財思いびと」の育成に努めます。			

文化財保存活用地区活用事業

課題 構成文化財の価値を共有するための情報発信と学ぶ場と活用が不足しており、また、これらを支える人材・組織が不足しています。

基本方針 情報発信と学ぶ場など「知る機会」の提供を推進し、保存・活用を支える人材・組織を作り出します。

38 加悦伝統的建造物群保存地区修理修景事業							◎	○			◎	
加悦伝統的建造物群保存地区の伝統的建造物の保存のための修理修景事業を推進します。	所有者が実施する修理等事業											
57 案内板設置事業							◎					
来訪者の便宜を図るために、区域内の文化財の近くの要所にルート案内板を設置し、周遊性を高めます。	庁内連携：観光行政部署 広域連携：京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署や京都府や海の京都DMO											
59 ガイド情報誌作成事業							◎					
来訪者の便宜を図るために、見学用ガイド情報誌を作成します。	庁内連携：観光行政部署 広域連携：京丹後市・伊根町・与謝野町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署や京都府や海の京都DMO											
77 講座・シンポジウム事業							◎	○				区域1 丹後ちりめん、与謝野道エリア 区域2 与謝野大江、山の辺の古道エリア
文化財保存活用区域の歴史文化の特徴に沿った講座・シンポジウムを通じて、当地域の歴史文化の特徴の基層を明らかにします。	庁内連携：観光行政部署 広域連携：京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署や京都府や海の京都DMO											
82 現地周遊事業							◎					
現地周遊事業を実施し、保存への理解を促します。	庁内連携：観光行政部署 広域連携：京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署や京都府や海の京都DMO											
88 文化財保存活用人材「文化財思いびと」育成事業							◎	○				
地域の歴史文化の成り立ちに対して、自発的に疑問を持ち、解明し、発信・伝える人材「文化財思いびと」の育成に努めます。	庁内連携：観光行政部署 広域連携：京丹後市・伊根町・宮津市・舞鶴市・福知山市の文化財部署や京都府や海の京都DMO											

課題 区域の歴史文化の特徴を示す景観の保全が危惧されます。

基本方針 区域の歴史文化の特徴を示す景観の保全を維持する仕組みを作り出します。

89 景観保全制度検討事業							◎	○			○	区域1・2
文化財保存活用区域の全域を維持するために景観保全の視点から検討します。	庁内連携：観光行政部署											